

令和6年度四国地区ブロック会議(in高知)開催報告

麻布大学同窓会四国ブロック会議は、四国4県の持ち回りで、毎年四国地区獣医師学会の前夜(獣医師大会)に開催される。今年は、高知支部が当番県で9月7日(土)高知市「葉山」にて、四国地区会員19名と同窓会本部より福山会長をお招きし開催された。

ブロック会議では、福山会長からの大学の近況報告の中で、愛玩動物看護師を養成する獣医保健看護学科が獣医学部に増設され、定員が70人のところ800人もの受験があり、人気を博しているとのこと。また、全国的に同窓会員数が減少傾向にあり、増員のためにより一層の卒業生の発掘・勧誘に努めて頂く。この対策として、同窓会本部は、各支部の準会員(大学生)の情報を各支部へ流すことや他学科の卒業生の入会等を検討し、各支部3名の増員をお願いするとのこと。

議題の学園評議員の選出の件では、(省略)4期目となった香川県(松家)の評議員から業務の実態等を聴き、次期評議員選出の準備をして行くことが決まった。

同窓会理事の選出では、四国地区からは、高知県(岡本)と100名以上ブロックから愛媛県(木村)が任期2年で就任した。

学術委員の選出では、麻布獣医学会がコロナウイルス感染拡大予防のため、学会中止となったので、引き続き愛媛県(木村)が3期目を務めることとなった。

また、今年の大学での学園祭への出品については、愛媛県が「じゃこ天」を販売することになった。

